

## 外部評価事前質問事項とその回答(総合振興計画審議会第6回会議)

委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答	
1回目 質問							
1	関口委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	指標の達成度の妥当性	市民活動推進課	平成21年度比較における平成22年度の実績値、「コミュニティセンターの利用人数」の減少、「地域センター利用人数」の増加の理由をお教えてください。	平成22年度の取り組みとして、地域センターと同様にコミュニティセンターにおいても、受益者負担の公平性の観点から、利用基準・登録制度を新たに設けたため、一部の利用が抑制された可能性があります。地域センターの利用者増は、利用者への認知度の高まりや小規模な集会機会が増えたためと考えています。
2	梅沢委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	指標の達成度の妥当性	市民活動推進課	利用者の満足、まあ満足が36.5%(H21)。この数字についてどのように感じますか？	数値は、平成21年度市民意識調査の設問「自治会活動や各種おまつりなどコミュニティ活動が充実している」の満足・まあ満足を足した数値であると思われませんが、この数値は同時に調査した33設問のうち上位6番目であることから、十分な数値とはいえないものの、一定のご満足はいただけているものと感じます。
3	梅沢委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	指標の達成度の妥当性	政策課	利用者の満足について、その後の調査結果はありますか？	その後の調査結果については、今年度和光市民意識調査を実施し、現在集計、分析をしております。
4	関口委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	取組内容の評価の妥当性	市民活動推進課	平成24年4月1日よりコミュニティセンター・地域センターの「利用の手引き」の一部改正が行われました。登録可能センター数がかかったことから、今後の利用促進策を具体的に説明して下さい。	平成24年4月1日にさらなる利用を促進するため、登録可能団体となるために必要な会員数の引き下げなどの利用の手引きの改正を行いました。来年9月までにコミュニティ施設に係るアンケート調査を予定していますので、その結果を踏まえ、必要な促進策を検討していきます。
5	梅沢委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	取組内容の評価の妥当性	市民活動推進課	H23年度の改修・修繕箇所17箇所(達成度85.0%)。東日本大震災では天井落下で死傷者が出ました。危険度の高い箇所から改修・修繕が当然だと思われませんが、その基準があるのでしょうか？	施設の長期修繕計画において、設備等の劣化度をA～Dにランク分けしており、劣化度合いの高いD評価のものから各年度の予算の範囲内で改修・修繕を行っています。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
6	関口委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	総合評価の妥当性	市民活動推進課	管理協力委員会に支払われる人件費の内訳をお教えてください。	受付業務・清掃業務・保険料です。
7	梅沢委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	総合評価の妥当性	市民活動推進課	管理協力委員会は自治会などで組織するようですが、自治会加入率46.2%(H21)です。実際わたくしは寡聞にして管理協力委員会の存在を知らないのですが、告知とか選出方法があるのでしょうか？	管理協力委員会は、地域の自治会や利用団体などで構成されており、その募集等は欠員となる団体から後任の推薦をいただくなど、各施設の管理協力委員会が行います。
8	関口委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	今後の施策の方向性の妥当性	政策課 <small>行政評価委員会による二次評価に対する評価のため、政策課で回答</small>	地域特性に合った管理運営とは、どのような内容ですか。	地域住民や利用者などで構成された各施設の管理協力委員会に管理業務を委託し、地域の利用者の立場に立って施設運営を行うということです。
9	梅沢委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	今後の施策の方向性の妥当性	市民活動推進課	「地域特性に合った管理運営をさらに進め、地域コミュニティの拠点としての役割を果たし、利用者数、満足度の向上に努める」とありますが、方向性に全く異論はありません。何か具体的な方策をお考えでしょうか？	質問4についての回答と同様です。
10	藤川委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	その他	市民活動推進課	両センターの施設や運営に関する利用者、管理協力委員等からの主な要望事項は何ですか。	今年度に寄せられた要望としては、机・椅子を倉庫内においている施設において、それらを予め出しておいてほしいとの要望や節電にともない間引きしている蛍光灯の位置を変えて欲しいなどが寄せられています。前段は、施設の管理協力委員会において審議し、他の利用団体の意見を聞いて対応することとしました。また、後段は市が現状確認を行い、直ぐに対応しました。管理協力委員会からは、施設の修繕要望が主なものとなっています。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
11	関口委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	その他	政策課	和光市行財政問題にてコミュニティセンターや地域センター等の公共施設の検討はされていますか。	平成22年度に和光市行財政問題検討会議を開催し、財政構造改革の課題として、施設管理委託等の見直しが必要であり、業務委託の経費の見直しとして「維持管理費」「清掃業務委託」「その他業務委託」などの検証、施設の見直しとして全ての公共施設についての統廃合や運営方法の見直しが必要との報告がありました。 現在は、この提言を受けて、平成24年1月策定の和光市行政改革推進計画の「テーマ型行政改革の推進」の中に、公共施設における管理委託、指定管理等の検討、業務委託における委託料及び委託方法の見直し、公共施設の配置及び機能の再編等、公有財産の有効利活用をテーマに掲げ、行政改革に取り組むこととしています。
12	関口委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	指標の達成度の妥当性	都市整備課	市民協働事業従事者数の指標関連について、市民協働事業(市民提案協働事業、行政提案協働事業を含む)の事業件数をお教えてください。	平成23年度市民協働事業数:3件(行政提案型) @市民緑地“上谷津ふれあいの森の維持・管理” @市民緑地“新倉ふれあいの森の維持・管理” @午王山特別緑地保全地区の維持・管理 なお、当初、市民提案型で採択した“和光市緑地の生物調査”はむさしの緑の基金助成金の活用により、協働事業としては取り下げました。 平成24年度市民協働事業数:3件(行政提案型) 1件(市民提案型) @行政提案型はH23年度の継続事業 @市民提案型は“大坂ふれあいの森”の保全と活用
13	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	指標の達成度の妥当性	都市整備課	H23年度に生産緑地面積の追加指定があったとあるが、どのようなことでしょうか？	和光市生産緑地地区追加指定要綱に基づき、平成23年度の追加指定は3地区(0.48ha、0.13ha、0.18ha 計0.79ha)です。
14	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	指標の達成度の妥当性	都市整備課	協働事業提案制度や公共施設美化サポーター支援制度を活用して緑地保全を推進するとありますが、市民協働事業従事者数はずっと一定だが、現状維持ということなのでしょうか？	新規ボランティア団体の設立や活動がなかったため、従事者数については現状維持になります。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答															
15	藤川委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	建築課	まちづくり条例対象外の開発は緑化の推進以外にも問題があると思われるが、その対策は、対象外の開発をより少なくする方向で条例を改正することは検討されていないのか。	現在、条例に委任されている部分については、対象基準の強化をしています。 委任されていない部分については、近隣自治体と同様、都市計画法に基づいた基準としており、現時点では条例改正の検討はございません。															
16	関口委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	都市整備課	公有地(緑地)の整備(午王山特別緑地保全地区)の今後の方向性は1次評価、2次評価とも「C」だが、「伝統的文化的意義」、「風致景観」等からも評価されているのでしょうか。	午王山特別緑地保全地区については、地域住民を中心とした団体と市との協働による保全が進められているが、急斜面という立地条件から、安全の確保が課題となっています。安全を確保しつつ地域特性を活かした緑地として保全するため、優先度は「C」としているが、継続的な取組みが大変重要であるとともに、午王山遺跡として重要な伝統的文化的意義を有していることは認識しているが、現在の整備状況は、その点を評価するに至ってない。															
17	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	都市整備課	H23年度の緑の実態調査によれば、緑被率37.6%とあります。このパーセンテージは近隣の市と比べるとどうなのでしょう。また調査で判明した特徴的なことはありますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>@朝霞市</td> <td>33.3%</td> <td>31.04%</td> </tr> <tr> <td>@新座市</td> <td>17.2%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>@志木市</td> <td>31.0%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>@練馬区</td> <td>22.2%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>調査で判明したことについては、本市の緑地は湧水と一体となった斜面林が多く点在している私有地にあります。</p>		現状	目標	@朝霞市	33.3%	31.04%	@新座市	17.2%	20.0%	@志木市	31.0%	40.0%	@練馬区	22.2%	30.0%
	現状	目標																				
@朝霞市	33.3%	31.04%																				
@新座市	17.2%	20.0%																				
@志木市	31.0%	40.0%																				
@練馬区	22.2%	30.0%																				
18	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	環境課	今年はお天気が続き朝顔やゴーヤがうまく成長しなかったと聞きますが、緑のカーテンがブームです。花いっぱい運動の中で、緑のカーテン教室は応募人数の2倍の申込み者があったとか。来年度の応募人数を増やすことは考えられますか？	今年度(平成24年度)の応募者数は定員割れをしており、年によってバラツキが見られるため、今後需要動向を見極めながら対応してまいります。															
19	関口委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	総合評価の妥当性	環境課	公共事業を含め開発と自然環境との調和が課題、具体的にその課題を説明してください。	宅地開発などの事業に対しては、まちづくり条例に基づく自然環境への配慮が規定されておりますが、開発前の自然環境を完全に維持させるのは困難であり、また公共事業に関しても、様々な制約の下、事業を行わなければならない、自然環境をそのまま維持することは難しいため、それらが課題となっています。															



	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
20	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	総合評価の妥当性	都市整備課 環境課	緑地や湧水をからも保全している形だが、公共事業や開発の進行で減少傾向にある。この傾向はさらに圧力を増すだろう。市民協働による知恵や工夫で反転攻撃に出る施策が求められるが、具体的な方策はあるのでしょうか？	市内にある緑地や湧水の多くは私有地にあるため、引き続き、市が市民緑地として借り上げ、市民協働による保全を推進してまいります。また、緑地の公有地化に関しても、財政状況を見極めながら検討してまいります。
21	藤川委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	今後の施策の方向性の妥当性	都市整備課	市民緑地等の私有緑地をどのようにして恒久的に保存していくのか。	和光市の公有地としての緑地は極めて少なく、公有地化による緑地の維持管理は最も望ましい形と考えております。しかし、緑地取得に伴う財源確保の問題は厳しい財政状況から困難であることから、市民緑地制度等による都市緑地の施策により、土地所有者の同意に基づき、都市計画決定等の恒久的に担保される施策を検討します。
22	藤川委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	今後の施策の方向性の妥当性	環境課	公共公益施設の緑化目標を具体的に設定し、積極的に推進すべきと思うが、何か検討しているのか。	まちづくり条例対象の整備事業に関しては、同条例に規定する緑化基準に基づく緑化を行っており、それ以外の公共施設は、各所管課において対応しております。
23	関口委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	今後の施策の方向性の妥当性	都市整備課	市民協働の推進を今後の施策の方向性とされていますが、「和光市協働指針」の範囲で行える内容に限定になりますか。	「和光市協働指針」では“協働には様々な形態があり、この表に厳密にあてはめられる活動だけではありません”とあるように、内容に限定されることなく、目的に見合った協働のあり方を模索しながら推進してまいります。
24	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	今後の施策の方向性の妥当性	都市整備課 環境課	私有地が多い緑地の公有地化は今後の重要な検討課題。保全地区・保存樹木の補助金に関しては、補助対象や補助単価の見直しが必要。いずれも財源は公のものであり、もっと民間活力を生かすような施策はないのだろうか。あるいは、市民協働を推し進め、市民の知恵を引き出す方向性が求められると思うのだが、いかがでしょうか？	(都市整備課) 緑地の多くは私有地であり、その保全には、市民、土地所有者、事業者、市がそれぞれの役割のなかで、理解・協力しながら保全することが大切です。市の施策については、緑地保全のインセンティブとなる補助金の見直しを実施するとともに、多様な財源確保の方策を探り、市民協働の推進により緑地を「守り・育て・活かす」してまいります。  (環境課) 保存樹木の補助金に関しては、補助対象や補助単価の見直しを今後検討してまいります。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
25	関口委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	その他	都市整備課	今後、生産緑地地区の廃止が進んだ場合、「和光市生産緑地地区追加指定要綱」に従い、生産緑地面積を確保されるのでしょうか。	引き続き、和光市生産緑地地区追加指定要綱により、追加指定の仕組みは確保してまいります。
26	藤川委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	その他	都市整備課	和光市緑の基本計画の緑化推進目標が具体的な施策に反映されていないと思われるが、調整しているのか。(例：工場・事業所の「目標緑化率」、「植栽基準」は、和光市北インター地区計画では、沿道緑化のみの規定となり、採用されていない。)	ご指摘のとおり、「緑の基本計画」の緑化推進目標と地区計画等の緑化施策に乖離があります。また、他の施策においてもこのような不一致が見られることから、「緑の基本計画」の見直しについて検討しております。
27	梅沢委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	その他	環境課 道路安全課	防火のための街路樹(アカガシ、クロガネモチ、イチョウ、スズカケノキ)や生垣(カクレミノ、サザンカ、ツバキ)という発想があるのでしょうか、もっと目的意識的に取り入れたらどうかと思います。	(環境課) 民有地の生垣は、維持管理も含め所有者自身による対応となっています。  (道路安全課) 現在、防火のための街路樹という考えはございません。
28	関口委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	指標の達成度の妥当性	環境課	行政が管理している市内の浄化槽設置について、常時の稼働状況は把握されているのでしょうか。	市の施設に設置されている浄化槽の常時の稼働状況は、各施設の所管課において把握しております。
29	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	指標の達成度の妥当性	環境課	7月の越戸川のBOD値が大きく上回ったとあるが、その原因究明や解決方法はあるのですか？ また、原因者にたいし、指導強化以外のペナルティはあるのですか？	当該BOD値の確定的な原因は判明しませんでした。流域にある大規模施設に対しては、立入り調査等を実施し、指導啓発に努めました。また、偶発的な事故の場合は、指導以外のペナルティはありません。
30	藤川委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	環境課	浄化槽の不適切な維持管理が水質汚濁発生の原因とされており、指導・啓発の事業費は2,074千円とあるが、事務事業評価表では指導件数が3.0件と少ない。これらの関連について説明して下さい。	当該事業費の大部分は、市内3河川の定期的な水質調査委託費です。指導件数に関しては、悪臭苦情が発生した浄化槽管理者に対する直接的な指導件数です。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
31	関口委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	環境課	雨水小型貯水槽の使用水の排水は、「雨水」または「汚水」のどちらになるのでしょうか。	雨水小型貯留槽の設置場所を雨どい付近であることを想定していますので、「雨水」としています。
32	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	環境課	河川水質事故などの公害に対する苦情がたびたび発生とあるが、H21、H22、H23年度の件数はわかりますか？	H21年度は12件、H22は5件、H23は7件となっています。
33	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	下水道課	管渠の老朽化が進んでおり、長寿命化に切り替えているようですが、進捗状態は何パーセントくらいですか？	平成23年度から現状の把握調査を開始しており、これに基づいた計画の策定後、工事を進めていく予定です。
34	関口委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	総合評価の妥当性	環境課	一部の浄化槽設置者において適正な維持管理が行われない場合、その者の名前等の公表はありますか。	浄化槽法に基づく罰則には、改善命令・使用停止命令があり、命令に違反した者に対しては、刑事罰として罰金がありますが、名前等の公表はありません。
35	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	総合評価の妥当性	下水道課	H21年度の汚水整備率94.4%、公共下水道利用率97.4%。道路未整備地域5.6%ですが、H23年度の数字はありますか？	H23年度汚水整備率95.0%、公共下水道利用率97.7%です。また、公共下水道認可区域371haに対して整備済面積が637ha、道路未整備地区34ha(5.06%)です。
36	関口委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	今後の施策の方向性の妥当性	環境課	雨水小型貯水槽施設の最大貯水量はいくらでしょうか。そして、雨水小型貯水槽の設置によって、結果、適正な水循環は可能になるのでしょうか。また、市内にある調整池(土地区画整理事業内で造られたもの)も機能しているのでしょうか。	雨水小型貯水槽の補助制度は、市民の方がご自身で設置する設備に対する補助のため、貯水量80リットル以上の容量のものと定めております。適正な水循環に関しては、少しずつではありますが、設置によりその方向に向かっていくものと考えております。区画整理事業に伴う調整池は施策13雨水対策の推進を基本に、事業地域の状況に応じた水循環の機能(浸透トレンチ等)も取入れられています。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
37	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	今後の施策の方向性の妥当性	下水道課	都市型洪水への取り組みとして雨水貯水槽設置補助金を設けるようですが、それ以外の複合的な対策があったら教えてください。	55.5mm/hの強さの雨に対応できる雨水管の整備を進めることで、5年に1回の確立で起こると言われている大雨に対応できるように対策しています。
38	梅沢委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	今後の施策の方向性の妥当性	環境課	雨水貯水槽は公共施設やマンションを含め、どのような場所を想定しているのですか？	雨水貯水槽は、基本的には雨どいからの雨水を溜める設備ですので、雨どいの下あたりに設置することが多いと思われます。
39	関口委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	その他	環境課	雨水小型貯水槽施設で使用した雨水には、水道料金(下水道料金を含む)は発生しますか。	雨水利用に関しては、上水道を使用しませんので、料金は発生しません。
<b>2回目 質問</b>							
40	藤川委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	今後の施策の方向性の妥当性	環境課	(質問22の回答を受けて) 和光市緑の基本計画では、公共公益施設の目標緑化率を「既設は空地の20%、新設は敷地の20%以上」としているが、和光市所管施設の現状はどのくらいか。 目標未達の施設の緑化は、いつ、どのように進めるのか。	各施設の緑化率の取りまとめは行っておらず、各所管課において把握しておりますが、この目標緑化率は、努力目標であるため、必ずしも達成できてはいないものと思われます。なお、平成19年のまちづくり条例施行後は、同条例に規定する緑化率に基づき緑化しており、条例対象施設は、この基準を満たしております。今後は、各施設の敷地の状況に応じて、可能な範囲で緑化を検討してまいります。  [参考]まちづくり条例の緑化率 近隣商業地域、商業地域・・・2% 用途地域の指定のない区域・・・20% その他の区域・・・10%



委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答	
追加 質問							
41	泉委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	指標の達成度の妥当性	市民活動推進課	コミュニティセンターと地域センターの利用度には差異がありますか？ また、登録団体が77団体増えたとありますがそのセンター別の割合はいかがですか。	コミュニティ施設は10館ありますが、各施設には利用人数に差があります。 【コミュニティセンター】 最大 白子:18153人 最小 新倉:6937人 【地域センター】 最大 新倉北:18631人 最小 城山:1570人 また、登録団体の増加は次のとおりです。 【コミュニティセンター】 新倉:7 牛房:5 白子:16 吹上:7 【地域センター】 白子宿:4 本町:12 新倉北:10 南:13 向山:3 城山:0
42	泉委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	取組内容の評価の妥当性	市民活動推進課	地域コミュニティの拠点としての役割を強めるため、市が行った年間のイベントなどを教えてください。またその際の参加率はどうでしたか。	コミュニティ施設を管理する管理協力委員会が主催し、下記のとおり「コミュニティセンターまつり」「地域センターまつり」を開催しました。正確な来場者数は把握できていませんが、地域の方々を中心に多くの来場がありました。(いずれも平成23年度の日程) 【コミュニティセンターまつり】 吹上:10月1日・2日 新倉:10月1・2日 白子:9月3・4日 牛房:10月2日 【地域センターまつり】 城山:8月7日 向山:12月11日
43	泉委員	安全部会	施策51「コミュニティ施設の整備」	取組内容の評価の妥当性	市民活動推進課	両施設の経年劣化にともなう修繕が必要なものについての現状はどうですか。	コミュニティセンター4館・地域センター6館においては、昭和57年竣工の白子宿地域センター、吹上コミュニティセンターを始め、修繕を必要とする箇所が増加傾向にあります。市では劣化度をA～Dにランク分けし、劣化度合いの高いD評価のものから各年度の予算の範囲内で修繕しています。主な修繕必要箇所は耐用年数の経過による外壁、給湯、空調、排水設備の交換などです。

	委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答
44	泉委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	都市整備課	市内の緑被率が37.6%とありますが、そのうち市民緑地の割合は、 また、市民緑地の契約件数とそれぞれの契約期間はどのようになっていますか。	緑被率37.6%は、平成21年11月現在の航空写真に基づき算出した値であり、その緑被地4,145,803㎡です。また、市民緑地の同時点の面積は11,052㎡となり、緑被地との割合は約0.3%です。また、契約件数は7件で、各々の契約期間は次のとおりです。 1. 西本村ふれあいの森 H12.5.17～H32.5.16 2. 花と緑のふれあいの森 H13.11.8～H33.11.7 3. 新倉ふれあいの森 H17.6.1～H27.5.31 4. 上谷津ふれあいの森 H18.12.1～H28.11.30 H19.7.1～H29.6.30 5. 越戸ふれあいの森 H19.4.1～H29.3.31 6. 大坂ふれあいの森 H19.7.1～H29.6.30 7. 城山ふれあいの森 H20.4.1～H40.3.31 なお、基準日がH21.11月なので 2と 5の緑地については、その後閉鎖しています。
45	泉委員	安全部会	施策56「湧水・緑地の保全と再生」	取組内容の評価の妥当性	環境課	湧水は地域コミュニティ住民により共同資源として利用されますが、市内の湧水の数とその管理状況はどうなっていますか。	確認できているところでは18箇所あります。管理状況は、市有地にある湧水は市が管理しており、民有地にある湧水は各々の所有者が管理しておりますが、一部環境団体が管理に携わっている箇所もあります。 市有地(公園・緑地等)…3箇所 民有地…12箇所 河川…3箇所
46	泉委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	指標の達成度の妥当性	環境課	H23年度BOD値が13.9mg/lとなっていますがどの河川ですか。またその他の河川のBOD値は。	13.9mg/lは市内3河川の年間平均値で、各々の箇所のBOD値は以下のとおりです。 単位(mg/l) 白子川…芝屋橋:1.6、白子橋:1.1、水道橋:4.2 越戸川…土橋:108.0、越戸橋:1.7、赤池橋:2.0 谷中川…浅久保橋:1.0、地蔵橋:3.5
47	泉委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	環境課	市内の浄化槽は何基ありますか。また、単独浄化槽と合併浄化槽の割合はどうなっていますか？	平成23年度末現在で680基あり、単独浄化槽が85.6%、合併浄化槽が14.1%、不明が0.3%です。
48	泉委員	安全部会	施策57「水環境の保全」	取組内容の評価の妥当性	環境課	水環境基準にBOD値以外の基準にしている指標を教えてください。	生活環境項目として、水素イオン濃度(PH)、浮遊粒子状物質(SS)、溶存酸素量(DO)があり、その他健康項目として、有害物質23物質を測定しております。